

平成19年3月19日

平成19年3月卵稚仔調査結果速報

鹿児島県水産技術開発センター

独立行政法人 水産総合研究センターの委託事業である資源評価調査事業において下記のとおり卵稚仔調査を行ったので、結果をお知らせします。

1 調査日

平成19年3月7～11日

2 調査船

くろしお(260トン)

3 調査方法

図の25定点において改良型ノルパックネットにより卵・稚仔魚等を採取し、分布域、数量等を調査した。数量比較は、県西部および薩南・県東部海域における1定点あたりの平均採取等を過去の数値、5ヶ年の平均値と比較した。

4 調査結果

【カタクチイワシ】

県西部海域

・卵の分布状況

宇治群島周辺海域で密度の高い分布が見られ、1定点あたりの平均採取数も前年・平年を上回った。

・稚仔魚の分布状況

甌海峡で比較的密度の高い分布が見られ、1定点あたりの平均採取数は前年・平年を上回った。

薩南・県東部海域

・卵の分布状況

枕崎沖で極めて密度の高い分布が見られ、他は平年を下回るところが多かったが、1定点あたりの平均採取数は前年・平年を上回った。

・稚仔魚の分布状況

坊沖、枕崎沖で密度の高い分布が見られ、1定点あたりの平均採取数は前年・平年を上回った。

【その他のイワシ類】

マイワシは卵、稚仔魚とも分布は見られなかった。ウルメイワシの卵は錦江湾中央部、開聞沖、竹島北、志布志湾口部、大隅海峡、種子島西、黒島北、坊沖、枕崎沖、宇治群島周辺海域、甌北で広範囲に見られ、最も多かったのは宇治北西で4個だった。稚仔魚の分布は錦江湾中央部、種子島北東沖、大隅海峡、種子島西、宇治群島北西で1～2個見られた。

